

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	アカデミックライティング				
担 当 者	神田 山下 牛頭				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.3	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
アカデミックライティングでは、文章の修辞法、パラグラフライティング、縮約 について学びました。これらは、今後のレポートや論文執筆に不可欠な文章表現力と読解力を高めるための重要な要素です。 学んだ知識や技能は、単に学内の課題で使うだけでなく、日常生活の中でも積極的に活用 してください。例えば、簡潔で分かりやすい文章を書く習慣を身につけることは、メールや報告書の作成にも役立ちます。また、論理的な構成を意識した文章表現は、専門分野での発信力を高めることにもつながります。 さらに、自分の専門分野に応用すること も大切です。修辞法を用いた説得力のある表現はプレゼンテーションに、パラグラフライティングの構成力は論理的な考察を深めることに、縮約の技術は要点を的確にまとめることに活かれます。何度も書くことで、これらのスキルは確実に身につけていきます。学びを実践し、専門分野での応用を意識しながらスキルを磨いていきましょう。 学んだことを活かしていき、常に学び続ける姿勢を持つことが専門職業人の姿勢です。今後とも頑張ってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.9	4.6	4.9	4.8	
学生へのメッセージ					
今年度の皆さんは非常に意欲的に取り組んでくれました。ペアワークでひとつの課題に取り組んだり、全体でひとつの課題について話し合ったりという授業形式でしたが、活発な意見交換があり授業が進めやすかったです。皆さんは日本語のセンスも良く、積極的に取り組んでくれました。それぞれが自分の意見を持ち、個性を活かして課題に取り組むことが出来たと思います。私自身、言葉に対する皆さんの感性に驚かされたり、感心したり、新しい発見をさせてもらいました。医療検査学科、診療放射線学科、口腔保健学科、こども教育学科から受講してくれていました。それぞれの専門職を目指す人たちとお話ができて良かったです。まとめの授業でもお話ししましたが、皆さんはこれから言葉を大切にしなければいけない職業に就きます。このゼミで学んだことを活かして言葉のもつ力と向き合い、言葉を磨いていってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.2	4.3	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
今年は全体の半分以上の人が授業以外の学習に1時間以上かけて勉強していました。2時間以上かけたという人も10人以上いました。授業態度もよく、多くの人が真面目に授業や課題に取り組んだことが分かります。毎回出題されたマナバの課題も、概ね遅れることなく提出できました。課題自体はさほど難しいものではなかったと思いますが、学習の習慣をつけてほしいという意図で出題されたものでした。 この授業では「読む」ことに重点を置きました。授業でも述べたことですが、「何となく雰囲気でする」ということは学生時代には避けてほしいことです。医療従事者になるみなさんが、将来仕事で必要となる語学力は「正確さ」だと思います。相手の考えを正確に読み解くためには文法も必要ですし、語彙力も必要です。中学高校と英語を学んできているので、今後は新しい文法は必要ありません。また複雑な文法も必要ありません。これまでに習った基礎的なことを思い出し、使えるようにしてください。 授業外で読書レポートを提出する課題もありました。これは、自分のレベルにあったものを選び、自分のペースで仕上げるというねらいもありました。ほとんどの人はしっかりと読めて、内容をまとめ、期限内に提出することができていました。その本の面白さを上手に伝えることができるレポートだったと思います。感想の内容はそれぞれの個性が出ていて興味深く読ませてもらいました。感想の中には「英語の本を初めて読み通した達成感があった」というものも複数あり、成果があったことがうかがえました。 英語が得意な人も苦手な人もいますが、今年度の皆さんはよく努力をしていたと思います。英語の学習はどのようなものを使ってでもできます。時間が自分のために十分に使える学生時代に、自分に合う方法で英語に是非取り組んでほしいです。医療現場では英語が必要な場面が多いことと思います。これからも自分で積極的に学んでくれることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	まなぶる▶ときわびとⅡ				
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.1	4.3	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
昨年度の授業評価と比較して、平均 0.3 ポイントほど授業評価が下がっている。とりわけ気になったのは、昨年度と実施方法、実施内容について大きな変更はなかったにもかかわらず、「Ⅰ学生支援」の分野の評価が 0.6 ポイント下がっている。学生の自主学習支援に力点を置いた授業であるので、授業 1 回あたりの平均学習時間が 30 分を切る学生が 113 人もいたことは残念である。自由記述欄にも学習習慣が身につけていないことを自覚しているコメントもみられた。この科目にかかわらず、全学で学生の学習意欲の喚起、学習習慣の定着を図っていく支援体制が求められる。「達成感があった、他学科の学生と協力して学修できた、学生の主体性を促す授業でやる気が起きた」など好意的な記述が多かったのも教員としては、とても嬉しい。この授業の大きなねらいが「計画的学修と教え合い、学び合い」であるので、そのことを理解して、この授業に取り組んでくれた学生が多くいたことには感謝したい。この授業のねらいを今後も継続実施して、資格取得、自己実現の伸長につなげてほしい。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	5.0	5.0	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
1 年生後期科目とした開講したこの科目には、8 名（看護学科 6 名 口腔保健学科 2 名）の学生さんに受講をしてもらいました。「口腔の健康」と「身体の健康」に興味を持っていただきたく、講義や実習、また学生さんによるプレゼンテーションなど楽しく授業をおこないました。皆さんには積極的な姿勢で受講してもらい、授業評価のⅡ～Ⅴの 4 項目は、5 点満点の評価をいただきました。この講義を受講して、知らなかったことを知る喜びや自身の健康に向き合う姿勢など、医療人としての基本的な態度を身に付けてもらえたのなら嬉しいです。 これからの学生生活においても、何事にも能動的に、そして楽しみながら学習を積み重ねていってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	地域との協働 A				
担 当 者	大城亜水・伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.0	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
「地域との協働 A」の受講、お疲れさまでした！ この授業を通して、地域社会とのつながりや協働の大切さを学ぶ貴重な機会になったのではないのでしょうか。医療や福祉、教育など、どの分野に進んでも、地域との関わりは欠かせません。実際に地域の課題に触れ、協働の意義を考えたことで、これからの学びや将来の活動に活かせる気づきを得られたことと思います。 地域の中で支え合い、共に成長していくことは、専門職としてだけでなく、一人の社会人としても大切な視点です。今回の学びを大切に、地域の中で自分がどのように貢献できるかを考えながら、これからも成長していきましょう。 皆さんのこれからの活躍を心から応援しています！					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	柴田しおり				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.6	4.5	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
概ね良好な評価が得られたと考えます。特に、自分で調べて実践して学ぶ、他者の調べたことや実践から学ぶ、という主体的な学習ができていたと思います。設備として意見のあったプロジェクターの機械音については、影響が最小限になるよう設置場所と座席の配置等を工夫すべきでした。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション（義務教コース）				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
4.1	4.4	4.5	4.4	4.3	
学生へのメッセージ					
コミュニケーションのツールである英語は使いながら学習しなければ上達はしません。この考えに基づき、この授業では英語を使うことを意識してもらいました。そうした活動の一つがパワーポイントを使った英語発表でした。これは準備が大変だったと思いますが、毎回、みなさんの発表をととても楽しませてもらいました。 コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることは、今以上に必要になることが予想されます。小学校教員を目指す人は、英語を教えることにもなります。中学校や高校で英語学習につまずいてしまった人も少なからずいると思いますが、今の段階でそれぞれがもっている英語の力を使ってできることは必ずあります。それをこの授業で実感してもらいたいという思いで授業をしました。みなさんに取り組んでもらったペアワーク、グループワーク、英語発表、エッセイなどを通して、自分の知っている英語を使ってコミュニケーションを取ることができる、と感じてもらえたのなら、とても嬉しく思います。 英語でできることをさらに増やせるよう、是非英語学習を続けていってほしいと思います。また、海外のことやできごとに興味を持つことも大事です。小学校教員を目指す人にとってはその姿勢は必須です。まずは、好きなアーティストの英語の歌やインタビュー、英語の映画、英語の雑誌、英語絵本などなんでもいいので、英語と関わり続けましょう。英語学習で困ったことや、質問があるときは、いつでも研究室を訪ねてくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ（保・幼教育コース）				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.4	4.3	4.4	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
コミュニケーションのツールである英語は使いながら学習しなければ上達はしません。この考えに基づき、この授業では英語を使うことを意識してもらいました。そうした活動の一つがパワーポイントを使った英語発表でした。これは準備が大変だったと思いますが、毎回、みなさんの発表をととても楽しませてもらいました。 コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることは、今以上に必要になることが予想されます。中学校や高校で英語学習につまずいてしまった人も少なからずいると思いますが、今の段階でそれぞれがもっている英語の力を使ってできることは必ずあります。それをこの授業で実感してもらいたいという思いで授業をしました。みなさんに取り組んでもらったペアワーク、グループワーク、英語発表、エッセイなどを通して、自分の知っている英語を使ってコミュニケーションを取ることができる、と感じてもらえたのなら、とても嬉しく思います。英語でできることをさらに増やせるよう、是非英語学習を続けていってほしいと思います。また、海外のことやできごとに興味を持つことも大事です。好きなアーティストの英語の歌やインタビュー、英語の映画、英語の雑誌、英語絵本などなんでもいいので、これからも英語と関わり続けてください。英語学習で困ったことや、質問があるときは、いつでも研究室を訪ねてくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	2		
科 目 名	地域との協働 B				
担 当 者	澁谷雪子、京極重智、伊藤彰、中村美紀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.4	4.1	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
本年度の「地域との協働 B」の履修者は、昨年、地域交流として小豆島に参加した学生が9名/16名と、宿谷施設、小豆島、企画について知っている学生がおり、皆さん自身で考える時間を多くとれたと思います。 皆さんからの評価結果は、Ⅰ学生自身が3.7(基盤平均との比 1.04)、Ⅱ授業内容が4.4(比 1.01)、Ⅲ授業方法 4.1 (比 0.92)、Ⅳ学習成果 4.4 (比 1.01)、Ⅴ総合評価 4.6 (比 1.05) で した。 学科ごとで評価が異なっていましたが、2学科以上が学科平均より高い評価(比 1.1 以上)をし、高評価であった設問は、「この授業に意欲的に参加した」、「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった」、「基本的な知識・スキルを得たり、深めたりすることができた」「自分で調べ、考える姿勢が身についた」「この授業を受けて満足している」でした。 一方、2学科以上が学科平均より低い評価(比 0.9 未満)をし、低評価であった設問は、「の質問や意見への対応が十分なされていた」が 5.00 と満点評価であり、「板書、スライド、教材などの使い方は適切だった」「授業の進行速度は適切だった」でした。こちらの設問は、皆さん自身で進めていく授業では、評価し難かった設問なのではと思います。 また、「ほぼすべてのことを自分たちで決めて、計画していけたので貴重な体験だった」「後輩や他学科と意見交換する機会があって良かった」「実際に(小豆島に)行って体験できて楽しめた」というコメントがありました。 高評価の設問を見ると、皆さんが意欲的に取り組んだことから、「好奇心」「深める」「自分で調べ、考える」「満足」と感じ、コメントからは、「貴重な体験」をし、「交流ができた」ことに満足と感じたのだらうと思います。 この授業を履修したことで、自分で考え、意見交換し、計画・実行できたことを自信として、これからの学生生活を送り、将来、教育者・医療人として充実した社会人生活を送っていただければと思います。 地域活動を意欲的に進めていただき、ありがとうございました。学生の皆さんが作りあげる授業でしたが、いかがだったでしょうか。これから、学内でお会いすることもあるでしょう。そして、地域活動でもお会いしましょう！(E 京極、R 伊藤、O 中村、M 澁谷)					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	布引 治				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.1	4.8	4.7	4.6	4.9	
学生へのメッセージ					
高い評価をいただき、とても嬉しく思います。励みになります。miniゼミ Bを通じて、さまざまな視点から考える力を身につけていただければ幸いです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ（火曜 3.4 限）				
担 当 者	近藤みづき・柳本太三				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.1	4.7	4.6	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
アンケート結果から、皆さんが満足いく授業が展開できたと考えています。記述をみると、良かった点は「バスケットでは常に優しく教えてくださりテニスでは先生が一人一人よく見てくれて的確な指導をしてくれるところ」「できていない人とできる人への対応が平等だったことや分からない人とかがいたらしっかり向き合っていたこと」等の意見がありました。改善点として「テニスの時に準備するグループとかが曖昧になって、実際に準備してない人も結構居たと思う。」等という意見がありました。ありがとうございました。 「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、スポーツ種目をいろいろ体験する内容と、一つのスポーツの奥深さを体験する内容で構成しています。学生の皆さんには、毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。単に体を動かすだけでなく、授業を適切にふりかえること、技術を経済的に合目的に習得する方法を考える等、主体的に授業に取り組むことを期待しています。さらに、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。（近藤） 皆さんが授業に一生懸命に取り組んでいたのがとても良かったと感じています。また、話をしっかり聞きそれを実際にやってみようとする事は、皆さんの将来の大きな力になると思います。スポーツが得意な方、苦手な方、まあ普通かなと思われている方と様々おられると思います。私は、どの人も、スポーツをする楽しさや爽快感を体感することができ、実際に運動する中で仲間と力を合わせることの楽しさや、何かができるようになる楽しさを、味わうことのできる授業になればと思い、実施してきました。少しでも、何かプラスになることを感じとってくれたら嬉しいです。（柳本）					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ（水曜 1.2 限）				
担 当 者	近藤みづき・山下耕平				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.2	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
アンケート結果から、皆さんが満足いく授業が展開できたと考えています。記述をみると、良かった点は「チームで協力して、色々なスポーツを行うことが出来て良かったです。いろんな人とグループになって、交流をもつことが出来たので良かったです。」「テニスについて、1つずつ教えてえて頂いたのですごく分かりやすかったです。」等の意見がありました。改善点についての意見はありませんでした。ありがとうございました。 「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、スポーツ種目をいろいろ体験する内容と、一つのスポーツの奥深さを体験する内容で構成しています。学生の皆さんには、毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。単に体を動かすだけでなく、授業を適切にふりかえること、技術を経済的に合目的的に習得する方法を考える等、主体的に授業に取り組むことを期待しています。さらに、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2		
科 目 名	科学技術論				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
2.5	3.7	3.8	4.0	3.0	
学生へのメッセージ					
科学技術論を系統的に学習するというコンセプトで、科学史、科学哲学、工学的見地、物理学的見地、生物学的見地、化学・医学的見地、情報学的見地と幅広い分野での講義でした。科学技術にたいする新たな世界観を持つようになってもらえればと思います。 ①この授業でよいと思った点 ・必修科目の内容をさらに深めることができたこと。 ②この授業で改善すべきだと思った点 なし					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	現代社会学				
担 当 者	伴仲 謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。 この授業は、ICT 機器の活用やそのスキルの向上を目指して、対面と遠隔とのブレンド型で行いました。授業のねらいは、新聞を介した時事問題を題材にして、「自分で課題を見つけて、その課題を自分で解決する」というこれからの社会人（「働いている人」という意味ではなく、社会に生きる全ての人）に求められる力を、体験的に身につけてもらうことを企図しました。 実際の授業は「自分たちで授業を創る」というスタイルでしたが、実際にやってみてどのように感じましたか？授業の様子や授業評価からは、みなさんが主体的に取り組んでいたことが伺えて、とても良かったと思っています。授業中にも言いましたが、大学生にとっていちばん大切な姿勢は「主体性」です。ここでの経験が、今後のみなさんの学びに少しでも役立てば嬉しいです。 これからも各種ニュースや新聞に目を通す習慣を継続して、時事問題に注目してくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	浦 みどり				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.5	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
授業評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。全体的に高い評価を頂きました。これは、皆さん一人一人が、限られた時間の中で一生懸命取り組んだ成果が表れていると思います。コメントでも「楽しかった」と頂いておりますが、私自身も授業が進むにつれ、皆さんのグループワークの成果を楽しみにしておりました。そして、協力しながら短時間でまとめる力や深い洞察力など、毎回驚かされていました。 唯一、「授業以外に学修した時間」の評価が低く、一見残念に思われますが、皆さんの成果の質の高さなどを拝見すると、これは授業時間内に集中して取り組めた証しですよね。10人全員がそれぞれに自分の役割を果たせたことも、満足度の高さに繋がっていると思います。 グローバル化の一方で、分断や「自国ファースト」の傾向が強まる世の中ですが、頂いたコメントに「世界の医療や教育について、もっと知りたいと思った」などに代表されるように、今後も積極的に世界に目を向け、興味を持って考え、ご自身に出来る事にチャレンジして頂けると嬉しいです。頑張ってください！（担当教員：浦 みどり）					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	プログラミング入門				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.5	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
学生による授業評価調査は「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」や「授業の到達目標が授業でわかりやすく示された。」という事柄に対してやや課題が残るという結果になりました。プログラムの使い方を提出してもらいましたが、初めて使う人にはよくわからない説明になっているものがありました。経験不足なのだと思いますが、練習しましょう。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
2.6	4.4	3.9	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
学生による授業評価調査は「授業の進行速度は適切だった。」、「板書、スライド、教材などの使い方は適切だった。」、「聞きやすい話し方だった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。 この授業は回数が少ないので、いろんなことを試す機会はほとんどなかったでしょうが、私が担当している M 科・R 科の卒研では夏休みも使って活動し、最初の 2 か月くらいはいろいろ試してもらっています。卒研のテーマによってはいろんな活動形態があると思いますので、どのようなになるかは読めないところがありますが、3 年生までにしっかり専門科目を学んで有意義な卒研ができるように準備してってください。					